

9 がつ 平和新聞

へいわしんぶん



さっぽろしへいわじどうかいかん

札幌市平和児童会館 札幌市西区平和1条5丁目1-27 TEL 667-3359 Fax 688-5397

札幌市児童会館指定管理者 公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会 【HP】 <http://www.g-kan.syaa.jp/>



＼あそんじゃおう！／ ～はりだしクイズにちょうせん～

にちもく ところ
15日(木) 午後4:00～4:45

しょうがくせいじょう さんかじゆう
★小学生以上 参加自由★

じどうかいかん なか
児童会館の中にあるたくさんのクイズをさがして解こう！

＼ハタケターイム／

おい か にか
6日(火)、13日(火)

ところ
午後4:00～4:30

はたけ
★畑キッズ★

はたけ せわ
畑のお世話をするよ♪



＼テニスのじかん／

なの か すい にか きん かつ か にか もく
7日(水)、16日(金)、20日(火)、29日(木)

ところ しょうがく おんせい
午後3:30～4:00 小学3年生

ところ しょうがく おんせい おんせい
午後4:00～4:30 小学4年生～6年生

★テニスメンバー★

たくさん練習して上手になろう！

＼子育てサロン／

1日(木)、2日(金)、6日(火)、8日(木)、9日(金)

13日(火)、15日(木)、16日(金)、20日(火)

22日(木)、27日(火)、29日(木)、30日(金)

午前 9:00～12:00

★乳幼児と保護者 参加自由★

初めての方もお気軽にご参加ください。

こども運営委員会

＼リーダー会／

ふつ か きん かつ か
2日(金)、20日(火)

ところ
午後4:00～5:00

うんえいいんかい
★運営委員会メンバー★

こんげつ はな あ
今月もいろいろ話し合おう！



＼けんだま検定／

ふつ か きん いつ か げつ ところの か きん
2日(金)、5日(月)、9日(金)

にち げつ にか きん にか げつ にか きん
12日(月)、16日(金)、26日(月)、30日(金)

ところ
午後3:30～4:45

しょうがくせいじょう さんかじゆう
★小学生以上 参加自由★

たくさん級位をあげるチャンスだよ！

＼おはなしたいむ／

にか きん
30日(金)

ところ
午後4:00～4:30

らいかんしゃぜんいん
★来館者全員★

ピースクラブのメンバーによる

えほん かみしほい よ き じかん
絵本や紙芝居の読み聞かせの時間だよ♪

みんなは知ってる？十五夜のひみつ



だんだんと暑い日も少なくなり、秋を感じる季節となってきましたね。秋の夜といえば十五夜！きれいな満月が見られる日を思い浮かべられる方が多いのではないのでしょうか。十五夜は、旧暦8月15日の夜の事を指します。毎年必ずしも15日とは限りません。今回は十五夜について詳しく見てみましょう。



十五夜の歴史って？

昔から月を見る風習はありましたが、十五夜のお月見が広まったのは「平安時代」。860年頃から中国から日本に伝わり、貴族の間に広がっていききました。当時、月を眺めながらお酒を飲んだり、船の上で詩歌や管弦を楽しんでいました。庶民の間にも十五夜の風習が広まったのは、江戸時代に入ってから。しかし、平安時代の貴族とは異なり、収穫祭や初穂祭の意味合いが強く、無事に稲を収穫できた喜びを分かち合い、感謝する日だったそうです。



十五夜はいつ？

実はその年によって十五夜の日には変わっています。2022年は、9月10日(土)が十五夜です。月の満ち欠けを基準にしていた旧暦と、太陽の動きを基準にしている新暦では、1年の始まる日も1年の長さも異なります。そのため、旧暦と新暦にズレが生じ、実際には毎年9月上旬～10月上旬の間に十五夜がくるとされています。また、月の満ち欠け(新月から満月)の周期も約15日と一定ではないため、十五夜と満月の日も例年1～2日程度ずれることがあります。



十五夜には何をしたらいいの？

十五夜の日はとてもお月様がきれいなので、望遠鏡を使って月をじっくり観察してみましょう。望遠鏡がない場合でも、肉眼で月の表面をみる事ができます。月の表面の様子はうさぎが餅つきをしているように見えるといわれています。しかしこれは日本人の考え方であり、海外では女性の横顔やワニ、カニの姿に見えるといわれたこともあります。



十五夜のお供え物

すすき



すすきは月の神様を招く依り代として供えられます。月の神様の依り代は稲穂なのですが、お月見の時期に稲穂がなかったため、稲穂に似たすすきを供えるようになったといわれています。供えたすすきを軒先に吊ると一年間病気をしないと、いふ言い伝えがあります。

つきみだんご 月見団子



十五夜にはこれからの収穫を祈り、十三夜ではその年の収穫に感謝して、お米の粉で作った団子を供えたのが、月見団子の始まりといわれています。月見団子は満月を模したもので、収穫への祈りや感謝だけでなく、ものごとの結実や幸福を表しています。

ほうさくもつ 豊作物



お月見には、収穫に感謝して、その時期に採れた野菜や果物を供えます。芋類の収穫時期であることから、里芋やさつまいもなどを供えます。さらに、ぶどうなどのツルものを供えすると、お月様との繋がりが強くなるといわれています。

